

新宮高等学校定時制

実施日時	令和3年 11月 5日(金)、12月22日(木)
参加者	生徒30名、教職員10名、計40名
実施内容	津波避難訓練、防災避難訓練

ねらい

- 1 防災に関する意識を高める
- 2 火災からの避難についての知識と技術を身につける。

主なプログラム

- 1 訓練① 11月5日(金)
 - 18:00 緊急地震速報訓練放送・机の下等に避難
 - 18:10 教科担当の指示で避難開始
(停電を想定して廊下・ベランダの電灯は消しておく)
(避難の際、スマートフォンの電灯機能を利用するむね伝える)
HRを消灯する(教科担当)
 - 3棟東側屋上に出て、整列、教科担当点呼、教頭先生に報告。
 - 18:30 多目的教室に集合、防災係より講話
- 2 訓練② 12月22日(木)
 - 18:00
火災警報発令緊急放送「これは 訓練です。校舎第3棟より出火しました。現在まだ火災は大きくなっていません。生徒諸君は担任の先生の指示に従って、すみやかに体育館前に避難してください。」
生徒は担任の誘導で体育館前に避難する
 - 18:30 消火訓練
その場で消火器の使い方等について消防署の指導を受け、理解を深める。
 - 19:00
全員2階視聴覚教室3に集合、大阪市での放火事件を踏まえ、火災からの避難方法につ

いてのビデオを鑑賞。

19:30 煙体験訓練

全員1階神倉ホール前に集合、火災発生を想定し、煙を避けて避難する方法を学習する。各学年、2人(3人)一組となって煙からの避難を体験する。

20:00

消防署員からの講評と講話、非常食を配布し、使用方法について解説。(飲食を避けるため)感想文記入

概要

- 1 世界津波の日における、授業中の停電を想定した地震・津波避難訓練
- 2 火災発生を想定した避難訓練・消火訓練、煙体験と防災学習(火災からの避難についてのビデオ鑑賞)

参加者感想文

- ・煙体験では息がしづらくて、前が見えづらから、実際に火災に遭遇したら怖いと思った。
(三年女子)
- ・火災や津波の避難場所をしっかりと覚えていなかったで、この体験を通じて、改めて確認しなければいけないなと思った。(二年女子)
- ・ダックウォーク(煙から避難するとき、煙を避けて中腰で歩くこと)について初めて知った。消火器の使い方は簡単だった。(四年男子)
- ・地震も火災もいつどこで起きるかわからないから、いつ起きてもその場に合った対処ができるように心がけておこうと思った。(四年女子)

成果と課題

【成果】

- ・避難訓練は、おおむね迅速に行うことができた。
- ・火災を想定した訓練を実施したことで、地震・津波以外の災害への意識を高められたことが感想文からうかがえた。
- ・津波から迅速に避難する意識を、ビデオ鑑賞によって高められたことが感想文からうかがえた。

【課題】

- ・夜間定時制であり、停電を想定した避難訓練は、今後も重ねて実施していく必要を感じる。
- ・心肺蘇生法や搬送訓練を9月初旬に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染の拡大により、市からイベント等の自粛要請があったため中止した。

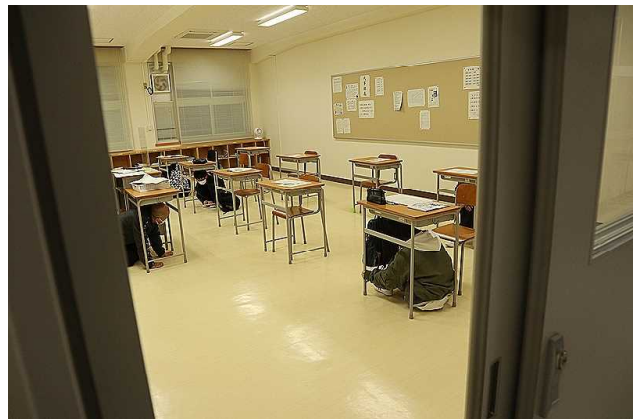
夜の校舎の屋上に避難



煙避難訓練のようす



緊急放送を受けて机の下に避難



消防署員の講評を聞く

